

平成 29 年度「国保連合会保健事業支援・評価委員会」 委員による報告会の開催について

- ・「国保連合会保健事業支援・評価委員会」委員による報告会については、平成 26、27、28 年度開催した。
- ・平成 28 年度は、前年度の報告会参加者のアンケート結果では、より多くの事例の情報を得たいといった要望を受け、保険者等への効果的な支援を実施するための支援策として、運営委員会並びに国保中央会は、ヘルスサポート事業の 3 年目にも支援・評価委員会の委員、事務局に向けた報告会を開催した。支援する側である支援・評価委員会の委員 4 名、支援される側である保険者 2 名、それらを支える事務局の代表者 2 名によるリレートーク形式での事例発表を実施した。
- ・平成 29 年度は、第 1 期データヘルス計画の推進にあたり、支援・評価委員会の支援による成果と課題を共有し、第 2 期データ計画策定に向けた効果的・効率的な保険者等の支援のあり方について意見交換を行う。
- ・今般、平成 28 年度に引き続き、平成 29 年度「国保連合会保健事業支援・評価委員会」委員による報告会を平成 29 年 10 月 5 日に開催する。

(1)開催日時

平成 29 年 10 月 5 日(木) 13 時～17 時

※午前(10 時 30 分～12 時) 国保連合会事務局(職員)による情報交換会の開催を予定

(2)報告会の参加対象者

保健事業支援・評価委員会委員(各都道府県代表者 1 名ずつ)

保健事業支援・評価委員会事務局担当者(各都道府県代表者 1 名ずつ)

平成28年度報告会アンケート結果より

1. 課題や問題点等の解消の参考になったか

(1) 支援・評価委員

とても参考になった	18 人	52.9%
参考になった	16 人	47.1%
計	34 人	100.0%

(2) 事務局

とても参考になった	16 人	30.2%
参考になった	35 人	66.0%
参考にならなかった	2 人	3.8%
計	53 人	100.0%

※2名出席だが、1名分として回答している連合会が1。

2. 平成 29 年度以降の報告会の開催について

(1) 支援・評価委員

今回(平成 28 年度)と同様の内容で実施	24 人	70.6%	} 主な意見 P3 参照
内容を変更して実施	10 人	29.4%	
計	34 人	100.0%	

(2) 事務局

今回(平成 28 年度)と同様の内容で実施	28 人	52.8%	} 主な意見 P3 参照
内容を変更して実施	25 人	47.2%	
計	53 人	100.0%	

平成 29 年度以降の報告会開催について(意見)

(1) 支援・評価委員

■ 今回(平成 28 年度)と同様の内容で実施

1	共通の課題を抱える全国の担当者から話を聞くことができ大変貴重な機会となった。
2	全国状況を、アンケート結果やリレートーク、グループワークから学ぶことができ、大変参考となりました。
3	グループディスカッションは役に立った。企画を継続してほしい。
4	リレートーク方式は来年度も継続してほしい。
5	今回の報告会に出席し、他県の状況等がわかり良かったので今後もこのような形で開催していただきたい。

■ 内容を変更して実施

1	今回はかなり意見や具体的な発表をした。事前にディスカッションの枠組みだけでもお示しただけだと、資料準備や頭の整理をして臨めると思う。
2	リレートークという形は興味あるが、発表者を 2,3 に絞り、少なくとも 30 分位の時間を与え、発表する形式の方が、効果的と考えます。
3	支援・評価で変化のあった具体的保険者事例。PDCA サイクルで改善した事例等ポイントを絞って事例発表なり、パネルトークなり行ったらどうか。

(2) 事務局

■ 今回(平成 28 年度)と同様の内容で実施

1	報告会の午前の部の「保健事業支援・評価委員会 国保連合会事務局職員による情報交換会」のように担当職員だけで意見や情報を交換できる場があるのは良いと思う。
2	リレートークについては、それぞれの立場で感じたことや実施したことがわかって良かった。
3	他の連合会事例はとても参考となるので次年度も引き続き実施をお願いします。
4	県による規模の違い、支援内容の違い、保険者のニーズによる違い、委員の職種による助言の違いなど事務局は手探りで実施している状況がわかった。
5	連合会職員として他県の担当者との情報交換の場としては大変有意義だと感じました。

■ 内容を変更して実施

1	今回事例に見る支援・評価委員会の効果について、保険者、評価委員、国保連合会事務局のそれぞれの立場からの効果や課題等についてリレートークが交わされ、本県としても参考となる事例があった。今後もこのような取り組みで好事例となった支援方法や保険者の具体的事例等を多く聞くことができれば本県の参考にしていきたい。
2	他県の実施方法の詳細を知ることからはじめないと、情報交換自体が難しいように思えたので、事前に他県の詳細を知る時間が必要だと感じた。もしくは、情報交換の時間を長く取るなど。
3	リレートークについては、それぞれの立場で感じたことや実施したことがわかって良かった。次回(平成 29 年度)は、第 2 期データヘルス計画策定に当たっての留意点などの説明があるとよいのではないか。また、今回のように、好事例を参考に保険者へフィードバックが来ると良いのではないか。

平成29年度「国保連合会保健事業支援・評価委員会」委員による報告会 日 程 表(案)

場所: 全国都市会館2階大ホール

	平成29年10月5日(木)
9:30	○午前の部 受付
10:30	○午前の部 開会(10分) 主催者挨拶 国民健康保険中央会 常務理事 飯山 幸雄
10:40	○保健事業実施計画(データヘルス計画)策定の手引きについて(20分) 厚生労働省保険局国民健康保険課 課長補佐 米丸 聡 氏
11:00	○保健事業支援・評価委員会 国保連合会事務局職員による情報交換会(50分)
11:50	休 憩(70分)
12:00	○午後の部 受付
13:00	○午後の部 開会(20分) 主催者挨拶 国民健康保険中央会 理事長 原 勝則 来賓挨拶 厚生労働省 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会 挨拶
13:20	○国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の3年間の活動と今後の支援の在り方について(15分) 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会 委員
13:35	○リレートーク(90分) 「事例に見る支援・評価委員会の効果(仮)」 【市町村国保】 ・兵庫県神戸市保健福祉局高齢福祉部国保年金医療課管理係 保健指導担当係長(保健師) 玉井 光恵 氏 ・高知県中土佐町健康福祉課健康増進係 保健師 大崎 有澄 氏 【後期高齢者医療広域連合】 ・新潟県後期高齢者医療広域連合総務課企画係 主任 勝見 慶美 氏 【国民健康保険団体連合会(国保組合の取組)】 ・京都府国民健康保険団体連合会保険者支援部保健事業課 課長補佐 齋田 晃子 氏 (コーディネーター) 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会 委員
15:05	○第2期データヘルス計画策定に向けたサポートシートについて(15分) 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会 委員
15:20	○グループに分かれて情報交換(60分) 8～9グループ(予定) 「第2期データヘルス計画策定に向けたサポートシートの活用と 今後の支援のあり方について(仮)」
16:20	○グループ発表(30分) 8～9グループ(予定) ○グループ発表総評(10分) 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会 委員
17:00	○閉会
17:30	○情報交換会(別会場で参加希望者のみ) 会場: 全国町村会館 地下1階 ペルラン 東京都千代田区永田町1-11-35 時間: 17時30分～19時30分(予定)

※日程及び内容は一部変更する場合があります。